

くすりと健康のはなし

第51回

薬包紙やくやくし一般社団法人岐阜県薬剤師会
医薬品委員会 一般用医薬品グループ委員

永瀬公子

市販薬と調剤の両方を扱う薬局にいる薬剤師です。

「ちよつと、ちよつと。薬剤師さん！」

お店の常連のおばあちゃん。あら珍しい。赤ちゃんを抱っこしてのご来店です。

「昨日、孫が蚊に刺されて。家にあつた私の薬を塗ったら、とんでもないことになっちゃつたのよ」

そう言つて見せてくれた可愛い赤ちゃん。ところが、その片側のほつぺの真ん中が一円玉くらいの大きさで白くなつています。

「これは？一体何を塗つたんです？」

お客様が見せて下さつたのは、テレビCMも盛んな虫さされ用クリーム。しかも、ダニやムカデにも効くと評判の商品です。

「かゆそうでかわいそうだったから。この薬、よく効いたのよ。私にはね」

最近では病院の薬ほどではなくても、市販薬にもそれなりに効果が強い成分が含まれるようになりました。ステロイド（副腎皮質

適「剤」適所

ホルモン）といわれる成分もそのひとつです。

ステロイドにはかゆみや腫れ、赤みを早く引かせるため、塗つた場所の毛細血管を収縮させる働きがあります。顔の皮膚は体より薄いため、薬の効果がより強く現れる傾向があります。また、子どもの皮膚は大人より薄く、そのために市販の虫さされ薬には子ども用という区分があるのです。

お客様にはその旨をご説明し、薬の効果が切れば戻りますと、お話ししました。

ドラッグストアという形態の店舗が増えた今、お客様が自分で薬を選んで購入・使用されることが日常的になりました。ですが、少しでも迷つた時や困つた時には薬剤師、登録販売者にご相談ください。きつとお力になれると思います。実は意外にも、お店にはそういうお客様の電話、よくあるんですよ。

適「剤」適所で、薬と良い関係を作りましょう。